

# デザイン美術学科

科目名 (科目コード)	基礎実習3 [絵画] 【2116】	配当年次	1	担当教員	井上 孝博	対象 区分	—	—	—
		単位数	1				—	—	—
授業の ねらい	あらゆる表現活動、及び日常生活において、美的知識・感性を生かすべく、それに必要な基礎体験としてのDESSINを養うと同時に、初歩的な実習(描法)の体得方法や授業での学び方を、“素描”を通して習得させる。								
授業の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.石膏を対象にしての木炭デッサン。「デッサン」についての概説。</li> <li>2.対象物(石膏像)と表現者(制作者)との共存関係性、対象の在り方(位置・存在状況)の認識。被写体を科学的合理的に観察することの重要性を説明。</li> <li>3.素材(紙・木炭・測り棒・ガーゼ・練りゴム・食パン等)の使用方法的説明。</li> <li>4.画面に原寸大に納めるための説明。</li> <li>5.描く姿勢・測り方・画面への寸法や位置や傾きの写し方の説明。</li> <li>6.実体(対象物)と画面上の図の寸法との比較・修正の重要性の指導。</li> <li>7.大まかな形態・像全体の分量の認識描写。</li> <li>8.頭部・首・胸部の関連性と、それぞれの分量の比較と、像の姿勢の認識描写。</li> <li>9.重要位置の測定・分割による形態特徴(全体像の特徴)の描写。その説明。</li> <li>10.陰影・明暗の描写。その説明。</li> <li>11.塊感・量感(立体感)の認識描写。その説明。</li> <li>12.空間の認識描写。その説明。</li> <li>13.重量感・物質感・実在感の認識描写。その説明。</li> <li>14.調子・自然性・雰囲気を確認描表して完成させる。</li> <li>15.まとめ(「描く」「写実」の意味を概説)。合評。</li> </ol>								
教科書	『絵画デッサン』 大阪芸術大学短期大学部通信教育部発行 ※この教科書は通信履修用として指定しているものと同じ教科書です。								
持参物	木炭デッサン用の大きなカルトン(画板)・竹ヒゴ(1本)・ガーゼ・画びょう(4ヶ)・食パン(練りゴム)								
評価方法	作品提出と受講態度の総合評価								